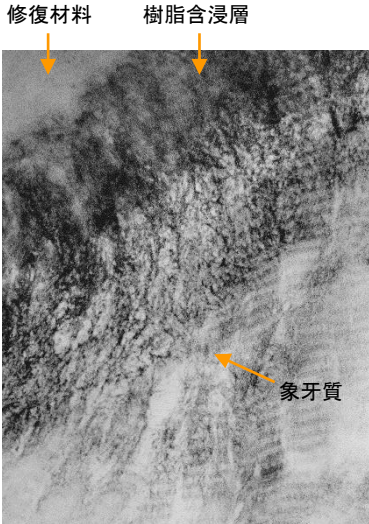


機能再生・再建科学専攻 歯科保存修復学分野 Department of Operative Dentistry



接着、審美、再生歯学の 三位一体による歯科治療を目指す



象牙質と材料との接着界面の
電子顕微鏡像

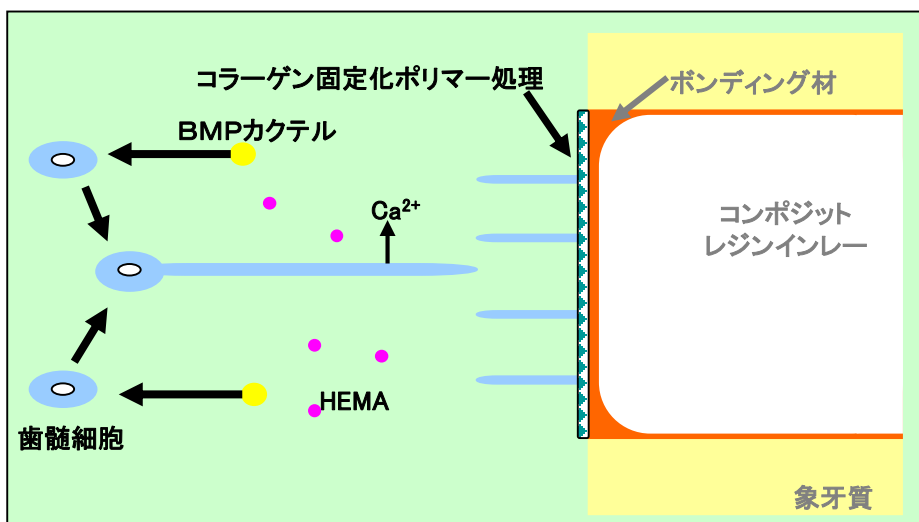
分野紹介

当教室は、岡山大学歯学部で、歯科保存修復学の教育、臨床、研究を担当している歯科保存修復学分野です。

教育は、歯学部学生に歯科保存修復学の講義と、最新のシミュレーションシステムを使用した実習を行い、卒業直前の学生および卒業後の新人ドクターに対しては、臨床実習(実際の患者様を診る実習)を担当しています。

臨床では、これまでの研究成果を取り入れた審美性修復材料によるう蝕治療や歯周治療などを大学病院で行っており、本教室の名前どおり歯の保存に主眼を置いた治療を行っています。

研究としては、象牙質を再生させる治療法を開発するために、生物学および材料学的アプローチで取り組んでいます。また、歯に接着する審美性修復材料を用いた新しいう蝕治療法の開発や、奥歯にも使用できる審美性歯科材料による修復法の研究にも力を入れています。さらに、歯の主要な病気であるう蝕象牙質の細菌学的、分子生物学的な研究にも鋭意取り組んでいます。



象牙質再生治療の開発
(コンセプト)